

## 2023年度

### ファボーレ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

| 評価方法           |      |  |
|----------------|------|--|
| 保育士等（全職員）の自己評価 | 評価期間 | 2024年1月1日（月）～1月22日（月）                  |
|                | 実施方法 | 全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。           |
| 保育施設の評価        | 評価日  | 2024年2月14日（水）                          |
|                | 実施方法 | 話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。 |

| 項目ごとの評価     |  |
|-------------|--|
| 保育理念        | 「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、全職員が「子どもを楽しませたい」「一緒に楽しみたい」という気持ちをもって、日々の活動や行事計画をワクワクしたものを心がけ、子どもたちがすくすくと育ち、ワクワク遊び、生き生きと過ごすことができた。 |
| 子どもの発達援助    | 「子ども一人ひとりに寄り添う丁寧な保育」<br>一人ひとりのその時の発達、その場に合ったかかわり方をミーティングや職員会議で話し合い、情報を共有し、全職員が共通理解のもと、統一したかかわり方を心がけた。                          |
| 保護者に対する支援   | 日々の送迎の際に成長した姿を共に喜びあい、また子育ての悩み等も気軽に相談できる関係作りを意識した。<br>また保育参観等では子どもの保育園での様子を見てもらうとともに、保護者とじっくり話しをする時間を設けることができた。                 |
| 保育を支える組織的基盤 | 毎月の園内研修では、子どもの発達援助の他に、事故トラブルや人権擁護について学び職員同士意見を出し合う時間を設けた。また外部講師による救命救急講習会を全職員受講し、子どもの命を守るために必要な正しい知識、技術の習得をし、保育の質の向上につなげた。     |

| 総評   |
|--|
| 日々の保育活動や行事等において、今いる子どもたちは何に興味を持っているのか、何をすれば楽しんでくれるのかを全職員が意識して、保育計画・行事計画をワクワクしたものになるよう心がけ、実際に子どもたちはもちろん、職員も日々楽しく過ごすことで、保育の質向上につながったと思います。<br>また今年度は災害が多く、その都度職員で災害対応について話し合う機会を多く持ち、改めて「命を守る行動」の意識を高めることができました。 |